

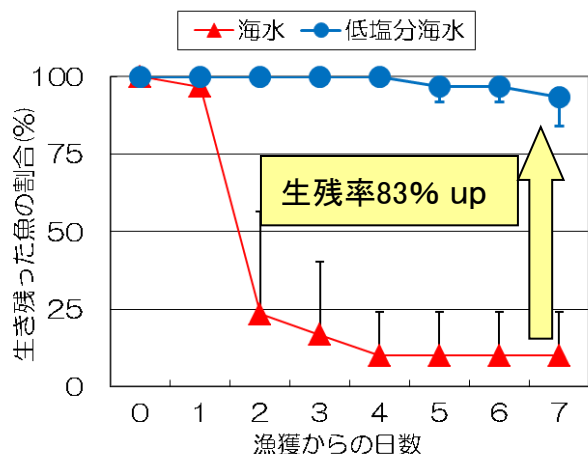
海水魚の活力向上・外傷回復技術



～ 外傷のある魚を活かして、活魚市場へ 消費者へ～

セールスポイント

- ◆ 漁獲ストレス等を受けた魚を希釈海水で蓄養するだけで、活力を維持または向上させ、なおかつへい死を低減できます！



- ◆ 効果のある塩分(至適濃度範囲)は魚種によって異なり(下表)、エビ・カニ、貝、イカ・タコ等には使えません。

魚種	至適塩分範囲(イメージ)	最適値における生残率上昇の事例
オニオコゼ		26%△
カサゴ		65%△
メバル類		83%△

- ◆ 外傷悪化の抑制効果があり、従来法と比べ商品価値の維持が期待できます(下写真)。

図 低塩分蓄養による外傷メバル類の生残性向上

発明の特徴と活用場面

具体的な活用場面

- ◆ 市場等で長期の活魚蓄養が可能となり、消費者に新鮮な魚を安定供給できるようになります。
- ◆ これまでに難しいとされてきた天然魚を活用した養殖が可能となり、大量に獲れる魚を付加価値の高いブランド魚に仕立てることができます。
- ◆ 観賞魚や水族館等の希少種にも活用できます。

発明の特長

- ◆ 初期投資として、ろ過付水槽、循環ポンプ等の設置に50万円程度必要です(1トン水槽規模)。
- また、水道代、電気代(内陸部の場合は海水輸送費)等のランニングコストがかかります。

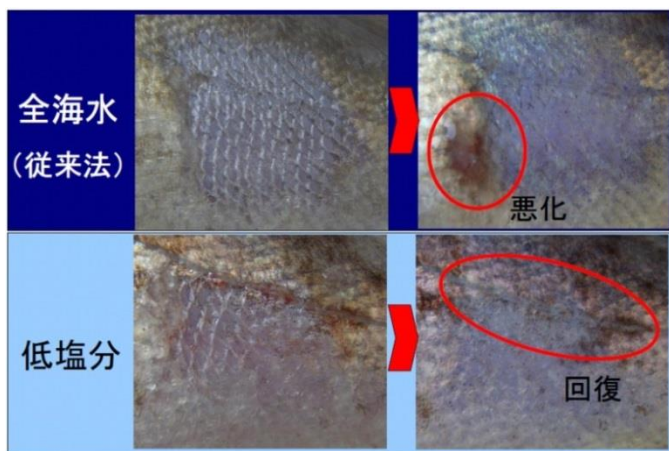


写真 人為的に鱗を一定面積剥離したメバル類の体表再生状況(左:外傷直後、蓄養15日後)

基本情報

発明の名称	海水魚の延命および/または外傷回復方法、ならびにこの方法で処理した海水魚		
特許権者	広島県		
出願番号	特願2011-065872	出願日	平成23年 3月24日
特許番号	特許第5803026号	登録日	平成27年 9月11日
実施許諾実績	■有(2件) □無	事業化実績	■有(1件) □無
技術指導	■可 □不可	サンプル提供	□可 ■不可
問い合わせ先	水産海洋技術センター 技術支援部		TEL 0823-51-2173